

「首都圏広域地方計画」の決定にあたり

本日、「首都圏広域地方計画」が決定されました。

首都圏は、約4,200万人が暮らす世界有数の大都市圏であり、日本の政治・経済・文化等において中心的な役割を果たして参りました。21世紀においても、日本全体だけでなく、世界の発展に寄与することが期待されております。また、時代の潮流が大きく変化する中で、自然・歴史・文化などの地域資源を保全・継承しつつ、生活や経済活動の質を高める21世紀の新たな首都圏を実現していく必要があります。

そのような観点から、関係都県及び指定都市の長、経済団体等から構成される首都圏広域地方計画協議会において、有識者懇談会の開催や、市町村からの計画提案、パブリックコメント等の手続により、様々なご意見を伺いながら、検討を重ねてまいりました。その結果、「世界の経済・社会をリードする風格ある圏域づくり」をキーコンセプトとして、5つの戦略目標を掲げるとともに、それを実現するために広域的に連携して取り組む24のプロジェクトを設定しております。

今後は、国、地方公共団体、経済界、学会など、首都圏に暮らす様々な主体が相互に連携・協力して、効果的かつ着実に計画が実施されることを期待しております。

平成21年8月4日

首都圏広域地方計画協議会会長

茨城県知事 橋本 昌